

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 47' 41.9"		
				経度	137° 32' 19.6"		
庄原橋 (フリガナ) ショウバラハシ	村道第52号線	長野県木曾郡王滝村					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
長野県王滝村	2017.11.13	河川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II				
	横桁					
	床版	I				
下部構造						
支承部						
その他	II	単管のボルトの緩み		I		2017.11.15

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	鉄筋が露出しているが、橋梁の機能に支障をきたすものではない。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 起点  終点 </div>
1923年	47.0m	2.10m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】</p>	<p>その他(地覆)【判定区分: 】</p>
<p>写真1</p> 	<p>写真2</p>
<p>支承部【判定区分: 】</p>	<p>下部構造【判定区分: 】</p>

